- 名　　称：一般社団法人 原子力安全推進協会
- 所 在 地：〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番地7号
  三田ベルジュビル14階
- 設　　立：2012年11月15日
- 役職員数：約190名
- 会　　長：ウィリアム・エドワード・ウェブスター・Jr.
- 理 事 長：加藤　功



舵輪のモニュメント
（JANSI 13階受付）

Nuclear Safety

舵輪のグリップは原子力事業者、その輪の中央にJANSI、そしてこれらがしっかりと組み合わされた姿は、「互いに緊密に対話し、信頼し尊敬しあう自主規制共同体」を象徴しています。

アクセスマップ



一般社団法人 原子力安全推進協会
〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番地7号 三田ベルジュビル14階
TEL 03-5418-9312　FAX 03-5440-3606　URL https://www.genanshin.jp/

2026/10

JANSI
Japan Nuclear Safety Institute

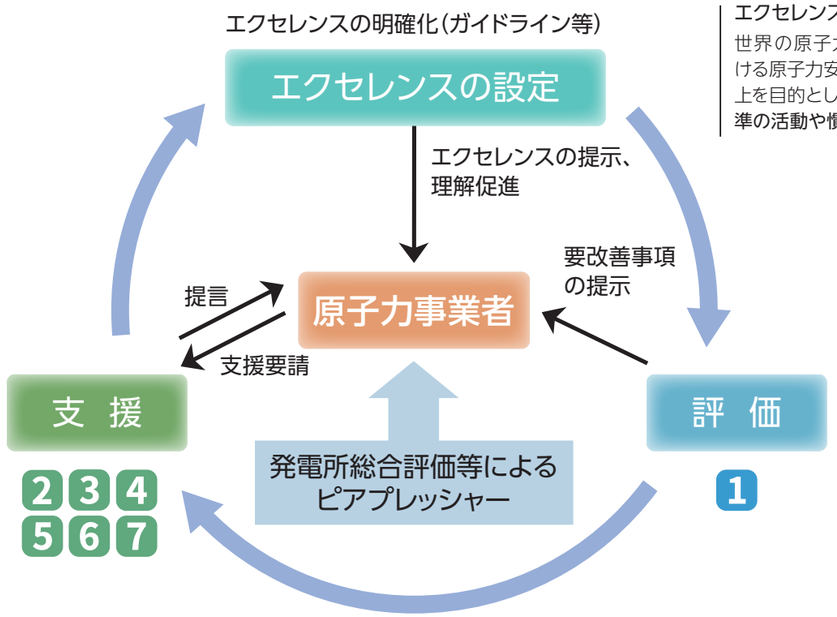
一般社団法人 原子力安全推進協会

Overview

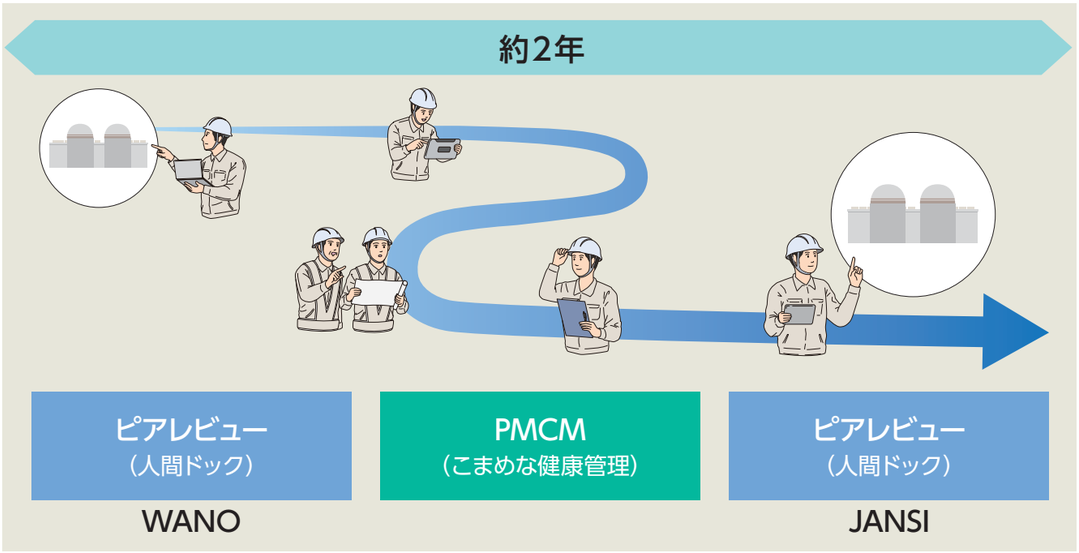
1. JANSI設立の経緯

JANSIは、福島第一原子力発電所事故のような過酷事故（炉心溶融等）を二度と起こさないという原子力産業界の総意のもと、2012年に設立されました。そのため、理事会も全原子力事業者の社長から構成され、世界最高水準の安全性（エクセレンス）の追求をミッションとして、自主規制（原子力事業者による自主的・自律的な安全性向上活動）を強力に推進しています。

2. JANSIの活動サイクル



エクセレンスとは
世界の原子力発電所における原子力安全の維持、向上を目的とした**世界最高水準の活動や慣行のこと**



World Association of Nuclear Operators　　Japan Nuclear Safety Institute

3. JANSIの主要な取組み

1 質の高いピアレビュー※の効果的・効率的実施

- 原子力発電所等の運営状況や設備の状態、安全文化の健全性や改善への取組み具合をエクセレンスとの比較において評価し、社長に結果を報告する



※ピアレビュー
・4年に一回の頻度で、国内原子力発電所のパフォーマンスを現場で確認しています。世界最高水準の安全性（エクセレンス）とのギャップ等を把握して、その結果を発電所長や社長に報告するとともに、その後の安全性向上の取組みを支援しています。

2 安全文化醸成活動の支援

- 原子力発電所等を訪問し、安全講演会や安全教育教材の相互紹介、意見交換等を実施
- 安全文化現場診断（原則4年に1回）





3 PMCM※の成熟と有効活用

- WANOとJANSIが共同でピアレビューとピアレビューの間を定期的にモニタリング
- 発電所パフォーマンスの状況を把握し、劣化の兆候を早期に発見して、良好なパフォーマンスを向上させ維持するための支援を実施

※Performance Monitoring & Continuous Monitoring

4 高いパフォーマンスを維持・継続する組織有効性の見極めと展開

- 組織が重視するべき組織運営上の特徴についてガイドラインを作成

5 運転経験活動の改善

- 国内外の原子力発電所の運転経験情報を収集・分析
- トラブル再発防止のために事業者が取り組むべき対策を提示
- 運転経験情報
  （2025年度発生件数）
  （国内約200件）
  （海外約5,000件）

6 リーダーシップ研修・セミナー等の充実

- 原子力安全最優先の意識醸成とリーダーシップ・コミュニケーションなどノンテクニカルスキルの習得（例年約200人）
- 事業者が実施する教育訓練をより実効的にするために体系的教育・訓練手法（SAT）導入・活用を支援

7 長期停止発電所への支援及び再稼働支援の実施

- 再稼働した発電所の知見を次に繋げる
- 再稼働前の現場確認や起動時に駐在員派遣を実施